

江田島市空家等対策計画(案)に係る意見募集の結果について

■実施結果の概要

- 1 実施期間
平成 29 年 3 月 1 日(水)～平成 28 年 3 月 24 日(金)
- 2 募集方法
 - ・市ホームページへ掲載
 - ・資料の閲覧, 貸し出し
(都市整備課, 市役所本庁 1 階ロビー, 江田島支所, 能美支所, 沖美支所, 三高支所)
- 3 提出方法
電子メール、ファクシミリ、郵送又は直接提出
- 4 意見募集の結果
意見提出件数 1 人
提出方法内訳 電子メール 1 件

パブリックコメント提出意見と市の考え方

【2 空き家等の現状と課題】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	<p>(2) 所有者等意向調査 [P13 (空き家等となった理由)] 空き家となった理由として相続によるものが 58.1%で、相続者の多くが市外居住者だと思われる。市外の方の空き家で市民が被害を被ることのないよう、市民第一の施策を進めるべきである。</p>	<p>市民が被害を被ることのないよう、地域住民の生活環境の保全を第一に空き家対策を進めていきます。</p>

【4 空き家等対策の取組】 ※語句整理等を除く主な指摘事項と市の考え方は次のとおり。

意見(主なもの)		市の考え方
1	<p>(3) 空き家等及び除却した空き家等に係る跡地の活用の促進 [P22 ア 空き家バンク制度の充実 外] 空き家対策として、移住者の増加を求めるのであれば、交流促進課との連携が必須なのではないか。</p>	<p>今後とも移住者の増加を図るため交流促進課と連携を強化しながら、空き家対策に取り組んでいきます。</p>
2	<p>(3) 空き家等及び除却した空き家等に係る跡地の活用の促進 [P22 ア 空き家バンク制度の充実 外] 施策を取り組むに当たってコスト意識は必要である。人口増加による損益も踏まえながらの対策が必要なのではないか。計画の推進に当たって、将来の江田島市民の有益性を第一に進めてほしい。</p>	<p>コスト意識も持ちつつ対策を進めていきます。また、計画の推進に当たっては、市民にとって何が最善かを念頭に置きながら空き家対策を進めていきます。</p>

3	<p>(3) 空き家等及び除却した空き家等に係る跡地の活用の促進 [P22 ア 空き家バンク制度の充実 外] 定住促進を進めていく上で、当市に暮らすことのメリット・デメリットを客観的に把握して施策を進める必要があるのではないか。</p>	<p>当市で居住する上でのメリット・デメリットの把握は必要であると考えます。今後、関係部署と連携を取りながら把握に努め、空き家対策に反映させていきます。</p>
4	<p>(6) 対策の実施体制 [P28 ア 庁内連携体制及びイ 協議会の組織] 対策のスピード化と市民の意見を取り入れた有意義な意見を反映するため、庁内組織と庁外組織が一同に会しての開催の場が必要ではないか。</p>	<p>庁内組織である江田島市空き家等対策推進本部会議と庁外組織である江田島市空家等対策協議会の事務局は、空き家相談窓口である都市整備課が担当しており、両会議に出された意見については、それぞれ施策に反映させるように努めています。今後は江田島市空家等対策協議会において、空き家対策の取組を深化させるための意見交換を予定しており、協議会に担当部課長の出席も考えています。</p>